

環境辞書 CSV ファイル仕様書

[規約番号：MANDSDS01]

第 3 . 1 版

概要：本規約は、ECALS 辞書のサブセットである環境辞書の CSV ファイルの構造について規定する。

発行 社団法人 電子情報技術産業協会
EC センター
技術標準専門委員会

- 目次 -

1.	目的及び適用範囲	1
(1)	目的	1
(2)	適用範囲	1
(3)	構成	1
2.	環境分類辞書ファイル (mas-clsdic.csv) の記載	1
(1)	辞書データの記述順	1
3.	環境プロパティ辞書ファイル (mas-prpdic.csv) の記載	2
(1)	辞書データの記述順	2
(2)	特記項目の定義	3
4.	環境分類・プロパティ関連リストファイル (mas-capdic.csv) の記載	4
(1)	辞書データの記述順	4
5.	環境プロパティ値リストファイル (mas-pvldic.csv) の記載項目	4
(1)	辞書データの記述順	4
(2)	特定項目の定義	4
6.	環境セグメント定義ファイル (mas-segdic.csv) の記載項目	4
(1)	辞書データの記述順	4
7.	環境クラス・テンプレートファイル (mas-clsdic-occurs.csv) の記載	5
(1)	辞書データの記述順	5
(2)	特記事項の定義	5
8.	環境プロパティ・テンプレートファイル (mas-prptmp-occurs.csv) の記載	6
(1)	辞書データの記述順	6
(2)	特記事項の定義	6
9.	環境物質群分類コード定義ファイル (mas-substcctg.csv) の記述	7
(1)	辞書データの記述順	7
(2)	特記事項の定義	7
10.	環境例示物質分類コード定義ファイル (mas-substc.csv) の記述	7
(1)	辞書データの記述	8
(2)	特記事項の定義	8
11.	環境使用用途分類コード定義ファイル (mas-intusecls.csv) の記述	8
(1)	辞書データの記述順	8
12.	環境辞書 CSV ファイルのファイル名	8

1. 目的及び適用範囲

(1) 目的

本規定は環境辞書の構成に関して記述すると共に、それぞれの辞書ファイルの記述内容について述べる。

(2) 適用範囲

本規定は環境辞書を構成する下記の12のファイルについて適用する。

(3) 構成

環境辞書は表 1-1 に示す 12 のファイルによって構成される。各ファイルは Shift-JIS の CSV 形式(Comma Separated Value Format)で記述する。

表 1-1 環境辞書ファイル一覧

辞書ファイル	
1	環境分類辞書ファイル (名称：mas-clsdic.csv)
2	環境プロパティ辞書ファイル (名称：mas-prpdic.csv)
3	環境分類・プロパティ関連リストファイル (名称：mas-capdic.csv)
4	環境プロパティ値リストファイル (名称：mas-pvldic.csv)
5	環境セグメント定義ファイル (名称：mas-segdic.csv)
6	環境クラス・テンプレートファイル (名称：mas-clsdic-occurs.csv)
7	環境プロパティ・テンプレートファイル (名称：mas-prptmp-occurs.csv)
8	環境物質群分類コード定義ファイル (名称：mas-substcctg.csv)
9	環境例示物質分類コード定義ファイル (名称：mas-substc.csv)
10	環境使用用途分類コード定義ファイル (名称：mas-intusecls.csv)

2. 環境分類辞書ファイル (mas-clsdic.csv) の記載

(1) 辞書データの記述順

表 2-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
-------	------

クラスコード	Class Code
親クラスコード	Parent Class Code
バージョン	Version Number
リビジョン	Revision Number
好適名称（英語）	Preferred Name.EN
好適名称（日本語）	Preferred Name.JA
短縮名称（英語）	Short Name.EN
短縮名称（日本語）	Short Name.JA
同義語名称（英語）	Synonym Name.EN
同義語名称（日本語）	Synonym Name.JA
定義（英語）	Definition.EN
定義（日本語）	Definition.JA
定義の元文書	Source Document of Definition
注意（英語）	Note.EN
注意（日本語）	Note.JA
注釈（英語）	Remark.EN
注釈（日本語）	Remark.JA

3. 環境プロパティ辞書ファイル（mas-prpdic.csv）の記載

（1）辞書データの記述順

表 3-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
プロパティコード	Property Code
バージョン番号	Version Number
リビジョン番号	Revision Number
好適名称（英語）	Preferred Name.EN
好適名称（日本語）	Preferred Name.JA
短縮名称（英語）	Short Name.EN
短縮名称（日本語）	Short Name.JA
同義語名称（英語）	Synonym Name.EN
同義語名称（日本語）	Synonym Name.JA
好適文字シンボル	Preferred Letter Symbol
単位	Unit
レベル	Level
データタイプ	Data Type
定義（英語）	Definition.EN
定義（日本語）	Definition.JA
定義の元文書	Source Document of Definition
注意（英語）	Note.EN
注意（日本語）	Note.JA
注釈（英語）	Remark.EN
注釈（日本語）	Remark.JA

セグメント	Segment
-------	---------

(2) 特記項目の定義

(a) データタイプ種別

データタイプ種別は、ユニークな文字列(コード)を付与する。コード付与の一覧を、「表 3-2 データタイプ種別のコード一覧」に示す。

表 3-2 データタイプ種別のコード一覧

データタイプ	コード
Integer	Int
Integer Measurement	IntM
Integer Currency	IntC
Integer Enumeration	IntE
Real	Real
Real Measurement	RealM
Real Currency	RealC
String	String
String Enumeration	ENUM
Boolean	Boolean
External File Reference	File
Date	Date
Uniform Resource Locator	Url

(b) レベル

指定文字列を Max, Min, Nom, Typ の4種類とし、大文字、小文字を区別する。登場順序は IEC 61360-1 に合せ、Min Nom Typ Max の固定順序とする。このレベル組み合わせを次の 11種類とし、「表 3-3 レベル組み合わせ一覧」に示す。

表 3-3 レベル組み合わせ一覧

	レベル
1.	Min
2.	Nom
3.	Typ
4.	Max
5.	MinMax
6.	MinNom
7.	MinTyp
8.	NomMax
9.	TypMax
10.	MinNomMax
11.	MinTypMax

4. 環境分類・プロパティ関連リストファイル(mas-capdic.csv)の記載

(1) 辞書データの記述順

表 4-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
環境分類コード	Class Code
プロパティコード	Property Code

5. 環境プロパティ値リストファイル(mas-pvldic.csv)の記載項目

(1) 辞書データの記述順

表 5-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
プロパティコード	Property Code
プロパティ名称	Property Name
プロパティ値(英語)	Property Value.EN
プロパティ値(日本語)	Property Value.JA
値の意味(英語)	Value Meaning.EN
値の意味(日本語)	Value Meaning.JA

(2) 特定項目の定義

(a) データタイプ種別

環境プロパティ値リストファイル(mas-pvldic.csv)は、データタイプが列挙型(Integer Enumeration 及び String Enumeration)のプロパティに対応したプロパティ値のファイルである。

6. 環境セグメント定義ファイル(mas-segdic.csv)の記載項目

(1) 辞書データの記述順

表 6-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
セグメント	Segment
好適名称(英語)	Preferred Name.EN
好適名称(日本語)	Preferred Name.JA
短縮名称(英語)	Short Name.EN
短縮名称(日本語)	Short Name.JA
定義(英語)	Definition.EN
定義(日本語)	Definition.JA

7. 環境クラス・テンプレートファイル (mas-clsdic-occurs.csv) の記載

(1) 辞書データの記述順

表 7-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
回答クラス	Reply Class
クラスコード	Class code
好適名称 (英語)	Preferred Name EN
好適名称 (日本語)	Preferred Name.JA
テンプレート ID	Template ID
テンプレート出現	Template Occurs
最少出現回数	Minimum Occurrence Count
最大出現回数	Maximum Occurrence Count

(2) 特記事項の定義

(a) テンプレート出現

テンプレート出現はテンプレート ID の出現有無を記述する。

出現しない： 0, 出現する： 1

(b) 出現回数

E C A L S では F i l e 型のように特定のデータタイプは繰り返し出現しても良いことになっているものがあるが、環境辞書ではデータタイプに係わらず繰り返し出現することが許されている。

これを補完する目的で環境クラス・テンプレートファイル (mas-clsdic-occurs.csv) を設定した。

表 7-2 出現回数

出現回数	出現の内容
最少回数	0 から 5000 までの数値を記述する。0 以外はその数値以上は必ず出現する。
最大回数	0 から 5000 までと 10000 の数値を記述する。0 は出現しない。0 以外はその数値以上は出現しない。10000(unbounded)は制限なしに出現する。

(c) 回答クラス

表 7-3 回答クラス

項目	内容
回答クラス	J G P S S I 標準 J G P S S I 詳細 J standard J details AIS MSDSplis

8. 環境プロパティ・テンプレートファイル (mas-prptmp-occurs.csv) の記載

(1) 辞書データの記述順

表 8-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
回答クラス	Reply Class
クラスコード	Class code
好適名称 (日本語)	Class Preferred Name.JA
プロパティコード	Property Code
短縮名称 (英語)	Short Name.EN
短縮名称 (日本語)	Short Name.JA
検索属性	Query Attribute
記述属性	Description Attribute
開示属性	Disclosure Attribute
最少出現回数	Minimum Occurrence Count
最大出現回数	Maximum Occurrence Count
少数点以下文字数	Small number
最小数値	Minimum Value
最大数値	Maximum Value

(2) 特記事項の定義

(a) 検索属性，記述属性，開示属性

検索，記述及び開示属性の項目は，文字列型である。それぞれのコード，「表 8-2 検索，記述及び開示属性のコード」に示す。

表 8-2 検索，記述及び開示属性のコード

属性	項目：コード
検索属性	検索対象： Y，検索非対象： N
記述必須	記述必須： M，オプション： O，標準： S
開示属性	公開可能： P，限定公開： R

(b) 出現回数

E C A L S では F i l e 型のように特定のデータタイプは繰り返し出現しても良いことになっているものがあるが、環境辞書ではデータタイプに係わらず繰り返し出現することが許されている。

これを補完する目的で環境プロパティ・テンプレートファイル (mas-prptmp-occurs.csv) を設定した。

表 7-2 出現回数

出現回数	出現の内容
最少回数	0 から 5000 までの数値を記述する。0 以外はその数値以上は必ず出現する。

最大回数	0 から 5000 までの数値を記述する。0 は出現しない。0 以外はその数値以上は出現しない。
------	--

(c) 文字項目の必須

文字項目の必須(記述必須：“M”)は文字数 1 桁以上記述が必須である。

(d) 数値の範囲

数値の範囲はスキーマのバリデーションチェックにおいて項目必須を補完するものである。(空タグ必須チェックの対象とならない)

表 7-3 数値の範囲

出現回数	出現の内容
最少回数	0 から 5000 までの数値を記述する。0 以外はその数値以上は必ず出現する。
最大回数	0 から 5000 までの数値を記述する。0 は出現しない。0 以外はその数値以上は出現しない。

9. 環境物質群分類コード定義ファイル (mas-substcctg.csv) の記述

環境のコード定義は E C A L G A コード定義のように共通で使用されるものだけではないものがある。コード定義では表すことのできない物質群分類コード定義ファイル (mas-substcctg.csv) を設定した。

(1) 辞書データの記述順

表 11-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
物質群分類 No.	Substance Category Number
物質群分類名 (日本語)	Substance Category Name (Japanese)
物質群分類名 (英語)	Substance Category Name (English)
物質管理レベル	Substance Management Level
JGP フラグ	JGP Flag

(2) 特記事項の定義

表 11-2 辞書データの定義

項目	内容
物質管理レベル	A、B、C、X
JGP フラグ	TRUE : JGPSSI の調査対象物質群分類の場合 FALSE : JGPSSI の調査対象物質分類以外の場合

10. 環境例示物質分類コード定義ファイル (mas-substc.csv) の記述

環境のコード定義は E C A L G A コード定義のように共通で使用されるものだけではないものがある。コード定義では表すことのできない環境例示物質分類コード定義ファイル (mas-substc.csv) を設定した。

(1) 辞書データの記述

表 12-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
物質群分類 No.	Substance Category Number
例示物質分類 No.	Substance Number
例示物質分類名 (日本語)	Substance Name (Japanese)
例示物質分類名 (英語)	Substance Name (English)
金属換算係数	Metallic Conversion Coefficient
CAS No.	CAS Number
JGP フラグ	JGP Flag

(2) 特記事項の定義

表 12-2 辞書データの定義

項目	内容
JGP フラグ	表 11-2 で記述

- 1 1 . 環境使用用途分類コード定義ファイル (mas-intusecls.csv) の記述
環境のコード定義は E C A L G A コード定義のように共通で使用されるものだけではないものがある。コード定義では表すことのできない環境使用用途分類コード定義ファイル (mas-intusecls.csv) を設定した。

(1) 辞書データの記述順

表 13-1 辞書データの記述順

日本語名称	英語名称
物質群分類 No.	Substance Category Number
使用用途分類コード	Intended Use Classification Code
使用用途分類 (日本語)	Intended Use Classification Code (Japanese)
使用用途分類 (英語)	Intended Use Classification Code (English)

1 2 . 環境辞書 CSV ファイルのファイル名

同ファイル (環境辞書) のファイル名は 1 バイト英数字で YYYYMMDDmascsvxxx_yya と表記する。

YYYY : 西暦年数を 4 桁で示す

MM : 月を 2 桁で示す

DD : 日を 2 桁で示す

xxx : バージョン (001 ~ 999) を示し表示は上位 00 を表記しない

yy : リビジョン (01 ~ 99) を示し表示は上位 0 を表記しない。またバージョンとリビジョンの間にはアンダーバーを用いる。

a : オプションであり、これがあると査閲、検討中を示す (a-z)

附則)

1. 本規約書の改廃は，技術標準専門委員会において行う。
2. 本規約書の開示範囲は，会員内公開とする。
3. 改訂履歴

日付	状態	Ver/Rev	主な改訂内容
2007年02月14日	制定	001-01	
2007年11月27日	改訂	002-01	5 ファイルを追加
2009年12月31日	改訂	003-01	辞書構造改訂